

長久手市食品ロス削減推進計画

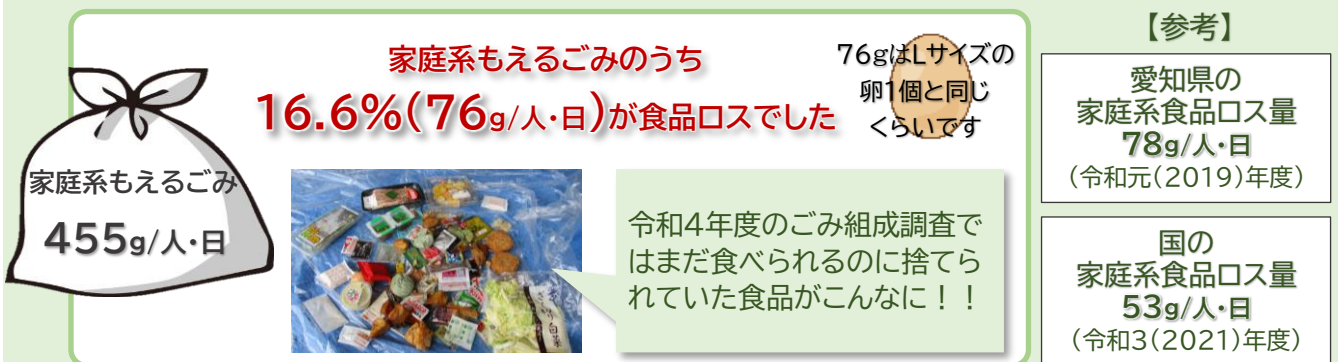
令和6年3月 長久手市

1 計画策定の趣旨

食品ロスとは、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品のことで、家庭だけでなく生産・製造過程や流通等のあらゆる過程でも発生しています。食品ロスの削減については、平成27年に国連総会で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」のターゲットの一つでもあり、令和12年までに世界全体の1人あたりの食品廃棄物を半減させることが盛り込まれています。本市においても、一般廃棄物(ごみ・生活排水)処理基本の策定に合わせて食品ロス削減推進計画を策定することにより、食品ロスの削減に向けた取組を加速化し、持続可能な社会の実現を目指します。

2 食品ロスの現状

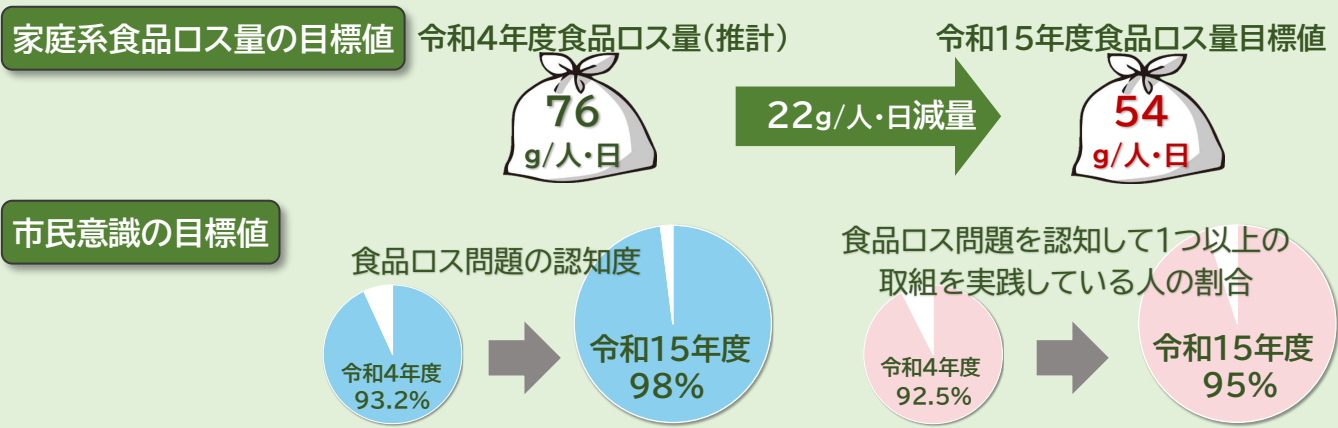
本市の家庭系もえるごみに占める食品ロスの割合は16.6%(76g/人・日)と推計されます。



3 基本方針と目標

今まで以上に食品ロス削減を楽しみながらみんなでチャレンジする意味を込めて、将来像と目標を以下のように掲げます。

みんなでチャレンジ!! ^{ゼロ}
おいしく食べ切って **食品ロス0**



基本施策1 発生抑制を目的とした施策の展開

(1)市民や事業者に対する食品ロスに関する知識の普及啓発

- ①講習会・研修会等の実施
- ②環境教育のための啓発資材の作成・配布
- ③SNS等を活用した情報の発信

(2)家庭における食品ロス削減の推進

- ①エコクッキングの推進
- ②3きり運動の推進
- ③手つかず食品の廃棄削減
- ④フードドライブの推進

(3)事業所における食品ロス削減の推進

- ①「3010(さんまるいちまる)運動」の推進
- ②「てまえどり」の促進
- ③「ばら売り、量り売り、割引による販売」の促進
- ④フードシェアリングサービス導入の検討

基本施策2 循環型社会の推進に向けた施策の展開

- (1)未利用食品の有効利用に向けた取組
- (2)災害用備蓄食料品・飲料水の有効活用

基本施策3 推進体制の整備に向けた施策の展開

- (1)食品ロスに関するごみ組成調査の実施
- (2)事業者との連携による推進体制の整備

「3010(さんまるいちまる)運動」って？

3010運動とは、飲食店等での会食や宴会時に、「食べきりタイム」を設け、食べ残しを減らす運動です。
乾杯後30分間は席を立たずに料理を楽しみましょう！
お開き10分前になったら席に戻って再度料理を楽しみましょう！

「3きり運動」で生ごみ減量！



「あすりー」と「すいっとり」と一緒に3きり運動にチャレンジしよう！！



※スーパー等で購入できる水きり袋やポリ袋を活用すれば、手の汚れを防ぐことができます。水きりは、ごみの焼却効率を高め、焼却費用や二酸化炭素排出量を減らすことに繋がります。

長久手市ごみ減量キャラクター